



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2019年10月号ブリテン 第350号

2019-2020年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「より良い明日のために今日を築く」(オーストラリア)
「Action！」 (東日本区)
「勇気ある変革、愛ある行動！」 (十勝)
「あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験を
ワイズのために」 (松本)
「力を合わせてポコアポコ」

会長 小山 久 恵
副会長 菰 渕 光 彦
書記 御園生 好 子
会計 柴 田 弘 子
直前会長 大 谷 博 愛
担当主事 大 津 桃 子

Our Motto 国際標語
国際会長 Jennifer Jones
アジア会長 田 中 博 之
東日本区理事 山 田 敏 明
あずさ部部长 赤 羽 美 栄 子
サンライズ会長 小 山 久 恵

10月第一例会のお知らせ

と き 10月10日(木曜日) 19:00~
と ころ 東京YMCA山手センター
か い ひ 500円
と う ぱ ん (弐組)柴田、江原、小山(憲)、河野、深田(晶)

◆プログラム

開会点鐘	会 長
ワイズソング・ワイズの信条	一 同
ゲスト・ビジターの紹介	会 長
卓話 『外国ルーツの子ども(フロストバレーの経験から)』 東京YMCA山手センター主任主事 星住秀一さん	星住秀一さん
ティスティング・タイム	一 同
ハッピーバースデー	会 長
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会 長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で
伊丹亭 21:15~

9月以降の予告

10月19日(土) あずさ部部会	松本クラブ	時間未定~
10月27日(日) 山手バザー	山手センター	10:00~
10月27日(日) 第二例会	伊丹亭	16:00~
11月14日(木) 第一例会	山手センター	19:00~
11月27日(火) 第二例会	山手センター	18:00~

9月第一例会報告

大谷博愛

9月12日(木)、サンライズの9月第一例会が19時より山手センター101号室で行われました。小山久恵会長による開会点鐘の後、ワイズソング、ワイズの信条の儀式が続き、卓話へと入って行きました。

今回の卓話は、東京クラブの比奈地康晴さんがスピーカーでテーマは『BFアフリカの旅から』でした。比奈地さんは、4月2日から4月26日まで、BFプログラムとして東南アフリカ区を公式訪問されました。この時の体験をスライドを用いてお話下さいました。比奈地さんが行かれた国はザンビア、タンザニア、ケニア、ウガンダの4か国で、各国のYMCAや医療福祉施設などを訪問し、タンザニアのタンガで行われた第22回東南アフリカ区大会及び第17回ユースコンボケーションに参加されました。私たちにとってアフリカは 【次頁へ続く】



10月のハッピーバースデー

5日	小 山 憲 彦 さん
24日	柴 田 弘 子 さん
27日	深 田 晶 也 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよ

9月例会出席者

在籍 (内広義会員 3名)	16名
メン	12名
メネット・コメット	1名
ゲスト・ビジター	6名
出席率	92%

●9月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg) ●ニコニコ：14,328円(累計：14,328円) ●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)
7月 6,060円 8月 8,268円



遠い存在なので、大陸全体をひとくくりで捉え、サファリのイメージくらいしか持っておりませんでした。かつてアフリカはヨーロッパ諸国の植民地だったために、ヨーロッパにとってアフリカは、距離的にも文化的にも極東にある日本よりもはるかに近い存在であることが分かりました。宗主国によって使用言語や宗教が異なり、大雑把にアフリカ大陸の一つに見ている私たちの無知に気づかされ、とても勉強になる卓話でした。

この例会は出席者が多く、「本音で語ろう会」も含めていつもより賑やかな例会でした。

出席者 小山(ひ)会長、江原さん、小山(の)さん、菰淵さん、柴田さん、菅原さん、立田さん、長津さん、松本さん、御園生さん、大津担当主事、大谷、比奈地さん(卓話者)、吉田さん夫妻(むかで)、太田さん(町田スマイリング)、吉田さんのご友人、計17人。

8月お散歩例会〈練馬〉

参遊會 正村 満さん

9月24日(火)12時練馬駅改札前に集合(小山さん、松本さん、御園生さん、正村)。何時も昼食は蕎麦屋を探すのですが、今回は練馬区役所の20階にある展望レストランで洋食をいただきました。曇ってはいたのですが、周辺に高い建物がないので眺望は非常に良かったです。食事が終わった頃に長津さんが合流。

先ず向かったのが、豊島園駅のすぐ近くにある「田島山十一ヶ寺」。元は浅草田島町の誓願寺の塔頭で、関東大震災で当地に移転(誓願寺はなぜか調布へ移転)。通りを挟んで浄土宗の11のお寺とそれぞれの墓地が有り、そのひとつ、九品院(くほんいん)には、延命蕎麦喰地藏(えんめいそばくいじぞう)がまつられています。境内には、二人が向合って蕎麦を食べながら楽しそうに語らうユーモラスな石像が有りました。

豊島園駅で柴田さんと合流。雨がポツポツと降って来たが、練馬区立向山庭園(こうやまていえん)に行きました。小さな庭園でしたが、池は練馬城の壕跡と云われているとの事。雨がやむまで施設内で一休み。

豊島園駅から練馬駅に戻り、四時を過ぎていたので本日の打ち上げ場所を駅周辺で探し歩く。「ミライザカ」と謂う居酒屋に落ち着く。この店の名物「骨付モモ一本グローブ焼きガーリック」をいただく。此処で江原さんも合流。何時ものように楽しい会話と美味しい料理とお酒をいただきました。

第33回チャリティーランに参加して

菰淵光彦

2019年9月23日(月・祝)、台風が関東地方をそれて北上したので、「第33回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン決行」のウェブサイト情報確認のあと、急ぎ東西線に乗り、木場公園内特設コースのスタート地点の撮影ポイントに到着しました。東京サンライズクラブからはコースボランティアとして大谷博愛メンと立田佳明メンが9時の集合に合わせて参加、折からの強風で本部・ラッフル売り場・ボランティア受付・模擬店・参加者テントなど全て使わずにスタンバイされ、唯一チャリランのアーチだけがそびえるイベント広場の様子取材した後、10時30分の子供ランのスタートを待ちながらセッティングしました。

3歳児から小学生が対象となる「こどもラン」は、二回に分けてスタート。まずは10時30分過ぎに小学生の年中組以上のランナーが第1のスタート、そのあとを追うように3歳児から年中以下のランナーが保護者に伴走されながら第2のスタートを切り、公園の特設コース1周をこどもたち約500名と保護者たちおよそ300名のランナーは延々と続けました。「こんなにも多くの子どもたちが参加したのか」と応援参加の方々はみんな驚いていました。

11時から今年から新たにイベント広場で開会式が行われ、強風のためにチャリランのアーチが撤去された広場中央でヒップホップのキッズパフォーマンスがオープニングイベントとして行われました。スケジュールのオリエンに引き続き、総主事のご挨拶、全国スポンサー三菱商事のご挨拶、カップ返還、競技説明などが行われ、12時過ぎに競技は開始されました。

50チームが参加した今回、23分58秒で6周を完走した東京YMCA山手センター(社体チーム)が1位で優勝しました。野外ステージ前で行われた閉会式では菅谷総主事がのフリップを片手に、「このチャリティーランの益金は1000人以上の障がいを持つこどもたちの支援のために使われます。」と感謝の言葉を述べられました。表彰式とラッフル抽選会も恙無く終わり、第33回チャリティーランは強風の影響が有ったものの、青空のもとですがすがしく終えたことをご報告します。



【サンライズの参加者、大津担当主事、菰淵、大谷、立田、アラレ恵美子メネット。】

山中湖センターだより

今月は休載します。

強調月間：EMC-E

会員増強委員会

Extension (クラブ拡張=新クラブ設立)

ワイズメンの運動を直接拡大強化する事業であり、クラブの絶えざる課題である新クラブ作りは長い地道な努力が必要です。時にはあなた自身が、新クラブのキー・メンバーとして移籍する覚悟が必要です。新クラブの会員となる数名の核となる人物が掌握できれば、あとは新クラブのチャーター目指して頑張るだけです。

サンライズは25年前「瓢箪から駒」で東京八王子クラブの親になりました。今度は比較的年齢の若い人たちを集めての子作りを真剣に考える時期に来ていると思われま。みんなで考えてみませんか。

強調月間：YES

ファンド委員会

YES=Y's Extention Support (ワイズ新クラブ設立を目指す目的の基金)

YESプログラムの目的は新クラブの設立を進めるクラブ、会員を支援するためのものです。このプログラムへの献金は新クラブ設立支援のために使われます。アジア太平洋地域に集められた献金は、エリアの中の区に配分されます。今年度の東日本区の献金目標は、一人当たり500円です。ご協力をお願いします。

あずさ部部会 松本クラブアジア賞

キャビネット

台風19号で中央線が寸断された影響で延期になった「あずさ部部会」が、12月14日(土)に、松本クラブ「アジア賞授与式」に併せて松本で開催されます。皆さま奮ってご参加ください。詳しくは11月第一例会でお知らせします。

山中クリスマス

山中クリスマス委員会

12月7日(土)～8日(日)、恒例の「地域の子どものためのクリスマス」が東京YMCA山中湖センターで開催されます。今年もビンゴゲームとページェントを考えています。人手も必要ですので皆さまのご参加をお願いします。詳しくは11月第一例会で決定します。

お散歩例会・忘年会

お散歩委員会

12月21日(土)は、第二(お散歩)例会と打ち上げ・忘年会を開催します。できれば、下町の粋な所とか、師走の商店街とか、江戸情緒の楽しめる所とか行きたいものです。最後は美味しいものを食べて締めくくりたいと思います。

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

- 9月2日～6日、「第20回アジア・太平洋YMCA大会」が日本YMCA同盟東山荘にて開催された。アジア21カ国から約400名が集った。東京YMCAからは会員、職員、ユースボランティアリーダー合わせて18名が参加した。スティーブン・リーパー氏(元広島平和文化センター理事長)による基調講演、グループワーク、テーマ別のワークショップなどのプログラムが持たれた。また、本大会前の8月31日～9月2日には、35歳以下のユースを対象とした「ユースアッセンブリー」がオリンピック記念青少年総合センターで開催され、東京YMCAからは8名が参加した。
- 9月14日、恒例の「国際協力一斉街頭募金」を新宿駅周辺で実施し、各部署から集まった会員、ワイズメン、岳生、メンバー、スタッフなど、総勢233名が街頭に立った。募金総額は338,788円となり、参加人数、金額ともに昨年を大きく上回った。寄せられた募金はバングラデシュの7つのYMCAが運営する働く子どもたちの学校(NFPE)で学ぶ児童をはじめ、現地の青少年の教育支援に用いる。
- 「第33回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」が9月23日(月祝)に都立木場公園で開催された。50チーム、伴走者も含めて計340人のランナーがそれぞれのペースで完走した。また、レース前の「こどもラン」には幼児・小学生約500人とその保護者が参加。ボランティア、スタッフ、応援者を合わせると来場者総数は1,600人を越えた。山手センターからは学舎を含め5チームが参加。ワイズメンクラブのみなさまからもご支援いただいた。益金は東京YMCAと全国YMCAが主催する障がいのある子どもたちを支援するプログラムのために用いる。
- 今後の主な行事日程
 - 第80回「神田川船の会」(40周年記念)
10月12日(浅草橋～神田川)
 - 第36回ソフトボール大会
10月14日(出版健康保健組合大宮運動場)
 - 東京-フロストバレーYMCAパートナーシップ40周年記念会(東京) 10月19日(東陽町センター)
 - 山手のまつり(山手バザー)
10月27日(日)(山手コミュニティーセンター)
 - 東京-フロストバレーYMCAパートナーシップ40周年記念キャンプ(米国)
11月1日～3日(フロストバレーYMCAキャンプ場)
 - YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝
11月14日(在日本韓国YMCA) 説教：渡邊さゆり氏(日本バプテスト神学校教務主任・彰栄学園宗務主任)

編集後記

10月号のブリテンを、もう10月も終わろうという頃にやっとなり発行しています。今月は原稿の集まりも比較的順調で、例会日にはお配りできると思っていたのですが、風邪をこじらせて2週間編集作業が出来ませんでした。申し訳ありません。